

FY18-1 経営概況説明会

CEO Explanation

Creating New Customer Value through Innovations **新たな顧客価値の創造**



淡輪 敏
Tsutomu Tannowa
Mitsui Chemicals Inc.
President & CEO

May 30, 2018

Contents

- ▶ **Business Performance**
17年度決算と18年度ローリング予算
- ▶ **Topics of Targeted Business Domains**
ターゲット事業領域のトピックス
- ▶ **Topics of Sustainability**
ESGトピックス
- ▶ **Financial Overview**
財務状況
- ▶ **Management Target for Sustainable Growth**
持続的成長に向けて

18年度は3年連続で過去最高益を更新見込み

(単位：億円)

摘 要	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	比較
	Results	Results	Results	Outlook	FY17→FY18
売 上 高	13,439	12,123	13,285	14,800	1,515
営 業 利 益	709	1,021	1,035	1,060	25
営 業 外 損 益	△ 77	△ 49	67	60	△ 7
経 常 利 益	632	972	1,102	1,120	18
特 別 損 益	△ 219	△ 114	△ 160	△ 50	110
当 期 純 利 益 *	230	648	716	800	84
為替レート(円/\$)	120	108	111	105	△ 6
国産ナフ(円/KL)	42,800	34,700	41,900	49,000	7,100

*「親会社株主に帰属する当期純利益」の意。後続スライドも同様

セグメント	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	比較 FY17→FY18
	Results	Results	Results	Outlook	
モビリティ	449	407	423	450	27
ヘルスケア	116	101	108	130	22
フード&パッケージング	203	206	199	230	31
基盤素材	10	385	389	330	△59
その他 (全社共通費用含む)	△69	△78	△84	△80	4
合計	709	1,021	1,035	1,060	25

為替レート(円/\$)	120	108	111	105	△6
国産ナフサ(円/KL)	42,800	34,700	41,900	49,000	7,100

- ✓ ターゲット事業領域での拡販継続
- ✓ 基盤素材は300億円以上を維持継続

FY18 Outlook

営業利益

1,060億円

売上高

14,800億円

ROS

7.2%

ROE

14.7%

Net D/E

0.70

配当*

中間50円/株、期末50円/株

*2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しています。

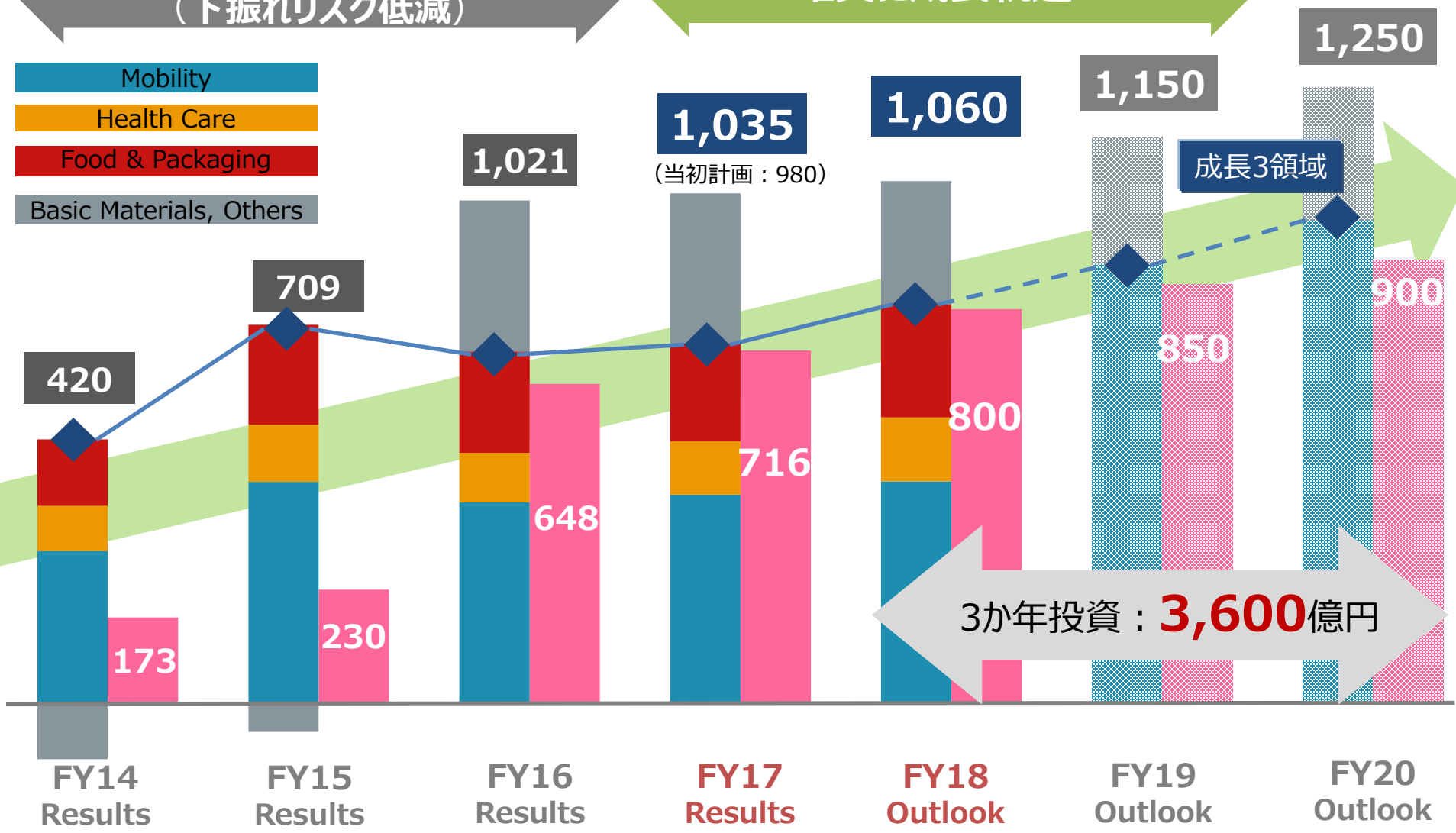


長期計画初年度から計画を上回る実績

安定収益体制を構築
(下振れリスク低減)

確実に成長軌道へ

(単位：億円)



18
年度の課題
7 ISSUES

事業戦略

① 成長3領域の拡大・成長

投資案件の拡充、周辺事業進出等の事業拡大
需要に対応した設備能力の確保

② 次世代の新事業の育成、新製品創出の加速**③ 基盤素材事業の更なる競争力強化**

工場基盤

④ 先進技術活用による工場基盤の強化**⑤ 安全技術の向上、生産現場力の強化**

マネジメント

⑥ グループ・グローバル経営基盤の強化**⑦ ESG経営の推進**

1. ソリューション事業管理室

2018年1月のアーク社株式取得に伴う**組織統合マネジメントを推進**し、モビリティ事業領域における**顧客起点による課題解決型事業を拡大**する

ガバナンス
Governance

シナジー
Synergy

PMI
Post Merger
Integration



グローバルに
ソリューション提案力を強化

2. ESG推進室

社会的要請が高まっている**ESG要素を事業戦略へ統合**、ステークホルダーへの**情報開示力強化**を推進する



E
Environment

S
Society

G
Governance



持続可能な社会と
企業価値向上の
両立を目指す

Contents

- ▶ **Business Performance**
17年度決算と18年度ローリング予算
- ▶ **Topics of Targeted Business Domains**
ターゲット事業領域のトピックス
- ▶ **Topics of Sustainability**
ESGトピックス
- ▶ **Financial Overview**
財務状況
- ▶ **Management Target for Sustainable Growth**
持続的成長に向けて

モビリティ

エラストマー、機能性ポリマー
機能性コンパウンド、エンブラ

01

成長3領域

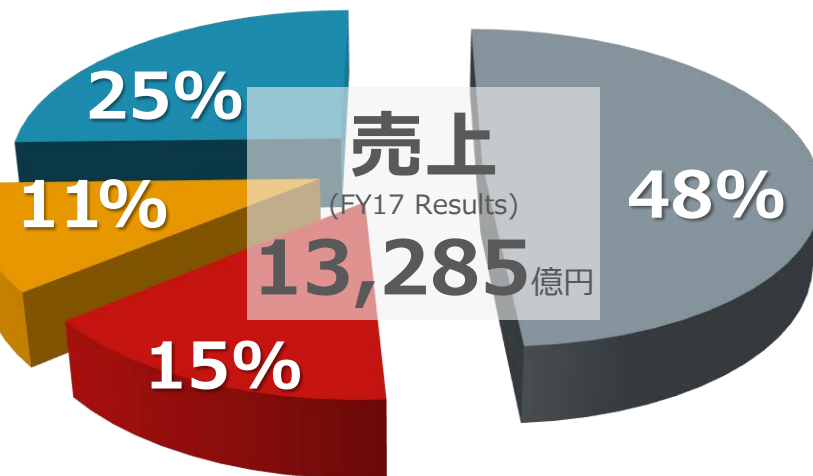


ヘルスケア

メガネレンズ材料、歯科材料
不織布、パーソナルケア材料

02

成長3領域



次世代

エネルギー、メディカル
アグリ、IoTソリューション

04

創出・育成



F&P フード&パッケージング

パッケージ材料、コーティング材料
農薬、種子

03

成長3領域



基盤素材

フェノール、PTA/PET、
ポリオレフィン、ポリウレタン他

05

競争力強化





》》Mobility

総合力を駆使したソリューションの提供



グローバル開発支援企業であるアーク社の株式取得(2018年1月、約300億円)

ARRK の概要

- ✓自動車向けを中心に開発支援サービスを提供する国内最大手
- ✓デザイン、設計、解析、試作まで顧客の製品開発をトータルでサポート
- ✓欧州での売上が60%を占め、欧系OEMの試作支援だけでなく解析サービスに強み

●アーク社拠点

売上高
447億円

営業利益
17億円

海外拠点
20拠点

従業員数
3,710名

USA/Mexico

主に日系OEMへの
開発支援業務

Europe

欧系OEMへ
ソリューションビジネスを展開

Asia

主に日系OEMへの
開発支援業務

アークが持つOEMとのパートナーシップを活用し、材料のグローバル展開強化へ



材料・設計・金型・試作のトータルソリューションをグローバルに提供

*MDC : Mobility Development Center

顧客ニーズ

ターゲット部品の獲得

グループ一体運営			
材料	設計・解析	金型	試作・評価
新材料・ 新材提案	MDC ARRK	KYOWA SOLUTIONS ARRK	18年12月 研究開発棟設置 KYOWA SOLUTIONS ARRK

ソリューション戦略実行のためのパーツが整う



×

ARRK

×

KYOWA
SOLUTIONS

- ✓トータルソリューション機能を活用し、部品の樹脂化促進による材料事業拡大
- ✓材料まで踏み込んだ高付加価値な開発支援サービスの提供
- ✓両社顧客ネットワークとグローバル拠点活用による両社事業拡大
- ✓相互拠点を活用した金型・試作事業拡大

シナジー効果：30～50億円(FY25)



PPコンパウンド

欧州新拠点設立(約50億円)

Mitsui Prime Advanced Composites Europe
 (オランダ・リンブルグ州 Chemelot Industrial Park)



生産能力
30KTA
 (20年6月)

(完成イメージ)

長繊維ガラス強化PP

モストロン®-Lの世界展開

日・米・中に新拠点設置検討中

(Total 10KTA以上)



金属代替バックドアで採用本格化

① 欧州での供給体制強化

- ✓ 初の自社供給拠点の確立
- ✓ 製販研拠点の確立完了

② 欧系OEMとの取組み強化

- ✓ 大手OEMの材料承認取得完了
- ✓ 環境規制強化により軽量化ニーズ本格化
- ✓ アーク社との連携でソリューション力獲得

① 金属代替により約**30%**軽量化

② 良外観で**塗装レス**実現

③ 部品点数削減

④ 世界的なSUV人気の中、

デザイン性向上に貢献



スチレン系熱可塑性エラストマー TPS事業参入

旭化成のTPS事業を買収

(17年12月)

既存ミラストマー®

新規

架橋型

TPV

内装 (シート表皮)
ウェザーストリップ
ステアリングブーツ

TPS

内装 (射出表皮)
ドアグリップ

オレフィン系

スチレン系

TPO

エアバッグカバー

非架橋TPS

非自動車用途
(ゴルフグリップ等)

非架橋型

超高流動・耐摩耗性・本革に近い
触感を備えたTPSのラインナップで
自動車内装材の提案力強化
(塗装レス、生産効率向上)



北米新拠点設置(15億円)

米国・オハイオ州

生産能力

6KTA

(19年10月)



(Advanced Composites, Ohio USA)

グローバル供給体制強化(51KTAへ)

- ✓ 軟質樹脂で最軽量
- ✓ 内装高級化ニーズに対応

FY20生産能力60KTAへ拡大



① 電解液

Japan(名古屋)

5 KTA稼働開始(17年4月)

China(寧波)

5 KTAに増強完了(17年11月)

- ✓ 航続距離、電費性能の良い
特殊添加剤技術
- ✓ 日・中LIBメーカーでの採用拡大中

更なる増強検討中

② セパレーター用材料

超高分子量ポリエチレン
「ハイゼックスミリオン®」

+ 15%能力増強(FY18)
(8.5KTA体制)

③ 熱暴走抑制材

LIBの安全性向上に
貢献する「STOBA®」



④ LIBパッケージ用材料

- ✓ ポリメタック®を活用したマルチマテリアル部材
- ✓ プライムポリプロ®
- ✓ 各種接着材料(アドマー®, ユニストール®)



Health Care

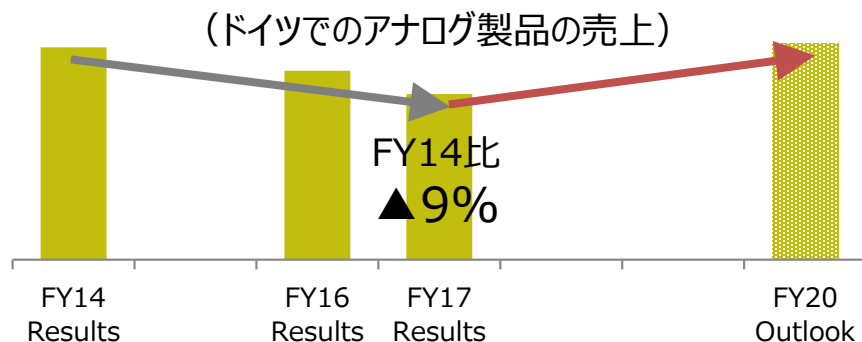
ケミカルイノベーションが、
Quality of Life に貢献



Kulzerの減損：のれん等の無形固定資産143億円(当社当期純利益への影響は▲95億円)

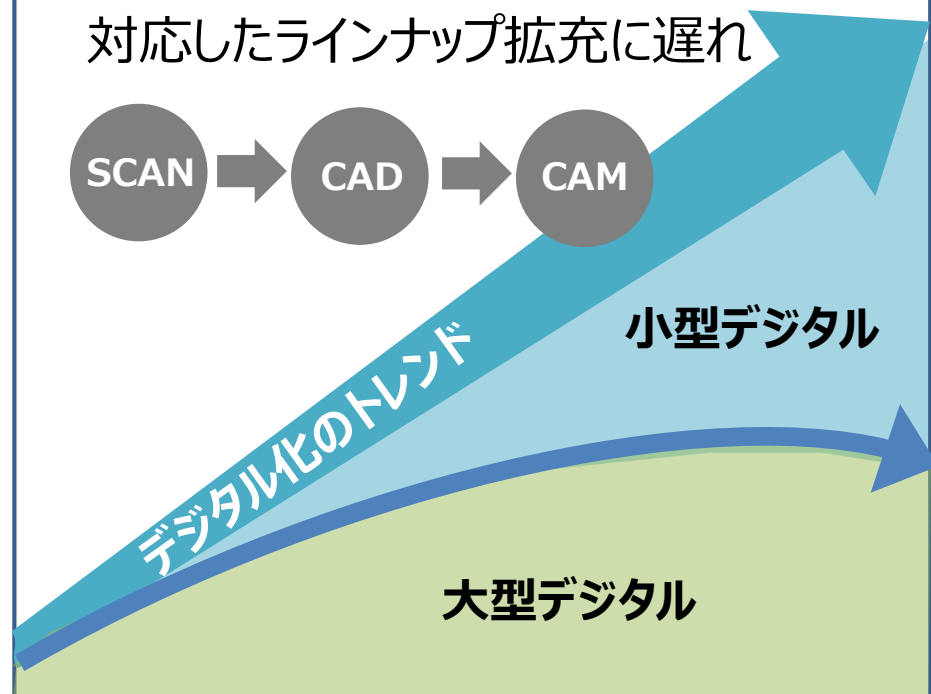
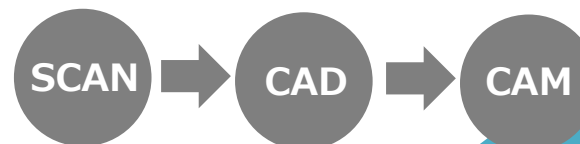
アナログ製品の減販

- ① 東欧・ロシアでの**社名変更承認遅れ**
- ② **EU流通市場の環境変化**



小型デジタル製品の立上げ遅れ

- ✓ **小型デジタル化**が急速に進行
- ✓ **デジタルワークフロー**全体に対応したラインナップ拡充に遅れ



① アナログ製品の拡販

- ✓ ドイツでの営業体制強化
- ✓ 歯周病治療薬の拡販



② WEB販売対応

③ アナログ新製品の投入

- ✓ 新規5材上市予定(FY18)

早期販売回復を図る

小型デジタル化に対応するデジタルワークフローの確立・強化

データ取得

3D Scanner

データ設計

CAD Software

作製

Digital Manufacturing (CAM)

3D Scanner
**スキャン可能な
印象材**

Software

3D Printer

レジンインク

**9 DW社とAI搭載
CADソフトウェア開発**

- ✓ **100万件**のビッグデータ
- ✓ AIによるクラウン・ブリッジの
デザインアシスタント機能

米/B9Creations社へ出資
 (30.74%、2018年4月)

- ✓ 歯科用3Dプリンタを**共同開発**
(2017年7月より市場投入)
- ✓ **業界最高レベルの精度、造形スピード**

**当社技術による
レジンインク投入へ**

- ✓ **1,000**以上のレシピ開発

①材料開発技術、②機器開発技術、③デンタル分野の知見を全て保有
デジタルワークフローの**トータルソリューション**展開を加速



不織布 新設備稼働開始 (2018年6月)

名古屋新拠点 (15KTA)

四日市/柔軟伸縮不織布 (+6KTA)

グローバル生産能力

+20%
(115KTA体制)

高機能不織布 エアリア™の海外展開

軽量・柔軟・高強度の特長が高く評価

Japan : 市場投入(17年5月)

Thailand : 量産体制確立(18年4月)

China : FY19量産体制確立へ

3極での量産体制確立へ

TouchFocus™販売開始 (2018年2月)

- ✓ワンタッチで遠近を瞬時に切り替えられる次世代アイウェア
- ✓広い視界、ゆれや歪みの少ない視界に高い評価

7 店舗
(18年2月)

取り扱い店舗
の拡大

Target
100 店舗
(19年3月)

販売目標 **5万本/年**
(FY22)



Food & Packaging

食糧問題へのソリューションを提供し、
新たな事業機会を獲得



新規5原体

海外展開

殺菌剤

トルプロカルブ

水稲用殺菌剤として、**FY15より国内販売開始****除草剤**

シクロピリモレート

水稲用除草剤として**登録申請済み****殺虫剤
ブロフラニド**

2017年12月

BASF社と長期商業化契約

- ✓新規作用性が高く評価
- ✓両社の強みを生かし、グローバル展開を進める
- ✓各国登録申請を順次実施中

**殺菌剤
キノフメリン**

2018年2月

バイエル社とグローバルライセンス契約

- ✓新規作用性が高く評価
- ✓共同開発を推進し、グローバル展開を進める

動物薬

ペット用途を中心に順調に開発中

**インドネシア
事業強化****Agriculture Construction社と事業提携**

2017年8月

- ✓子会社のAGCI株30%取得
- ✓成長するインドネシアでの売上拡大、開発促進へ



半導体製造工程用イクロステープ[®]™ 台湾 新工場起工



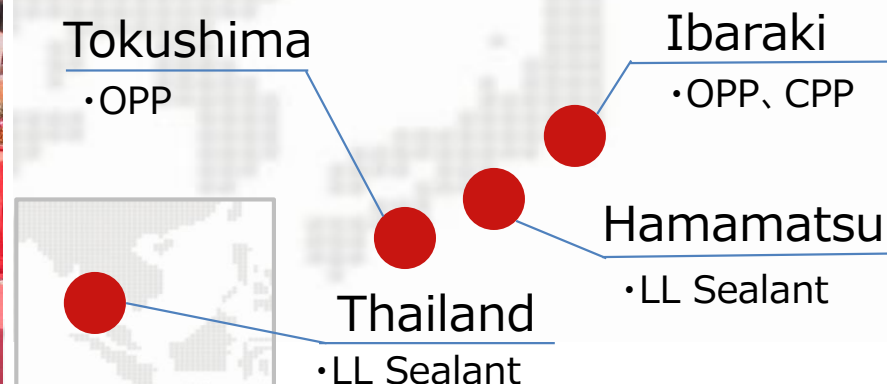
(2018年5月 台湾・高雄)



19年9月の営業運転に向けて順調なスタート

包装フィルム 生産体制最適化

生産効率向上策の実行



① 安定供給体制の強化

CPP能力増加(+10%)
OPP生産効率向上
LLアジア最適体制確立

② 付加価値品の増産体制構築

エコネージュ等の拡販余力確保

FY20完了予定

国内基盤を固め、海外展開強化へ



Next Generation Business

境界・外縁領域のソリューション事業を創出





Energy Solution



発電事業、診断事業

- ✓ **診断累計2GW超え**
- ✓ 海外投資家からの依頼急増

Medical Solution



細菌迅速検査

- ✓ **研究試薬提供開始**
- ✓ 海外展開本格化

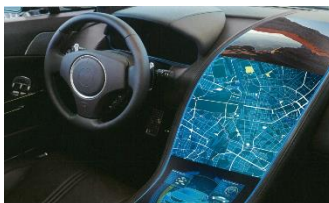
Agri Solution



新栽培システム(iCAST™)

- ✓ 米国・豪州での圃場試験良好
- ✓ 大規模農家での評価ステージへ

IoT Solution



圧電センサ、次世代ディスプレイ材料

- ✓ 各種センサニーズ増加
- ✓ OLED需要の本格化

Corporate Venturing

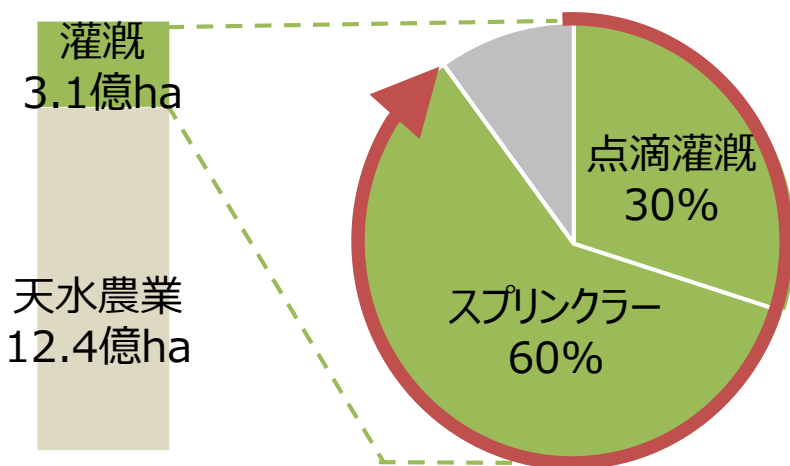


オープンイノベーション CVC機能



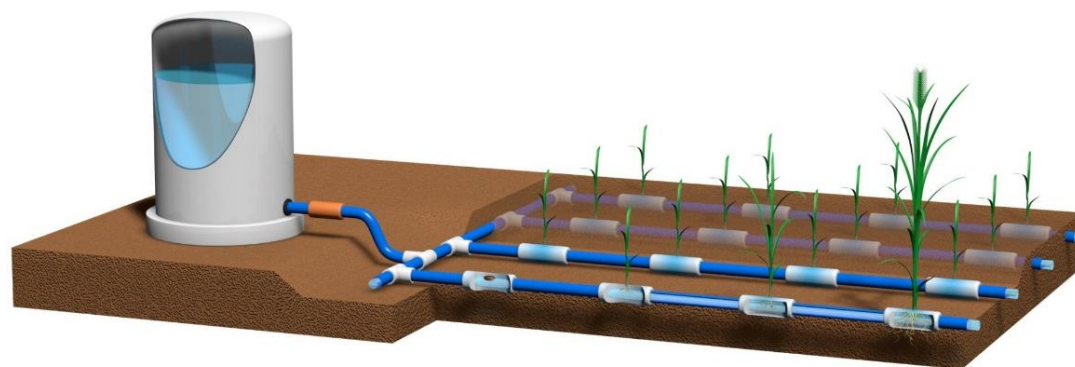
世界の灌漑農業

(世界の耕作面積)



iCAST®とは

植物が生育に必要なとする水・栄養・空気を、好きなときに好きなだけ吸収できる新しい栽培システム



Social Issue

世界的な食糧不足
水不足
土壌の窒素過多

2 ZERO HUNGER



15 LIFE ON LAND



(点滴灌漑との比較実証試験)

節水効果

30~50%削減

収穫量、品質

1.3~1.5倍向上

USA

Australia

新しいレジリエントな
農業システムへのニーズ

18年4月より大規模農家での
評価ステージへ(米・豪)

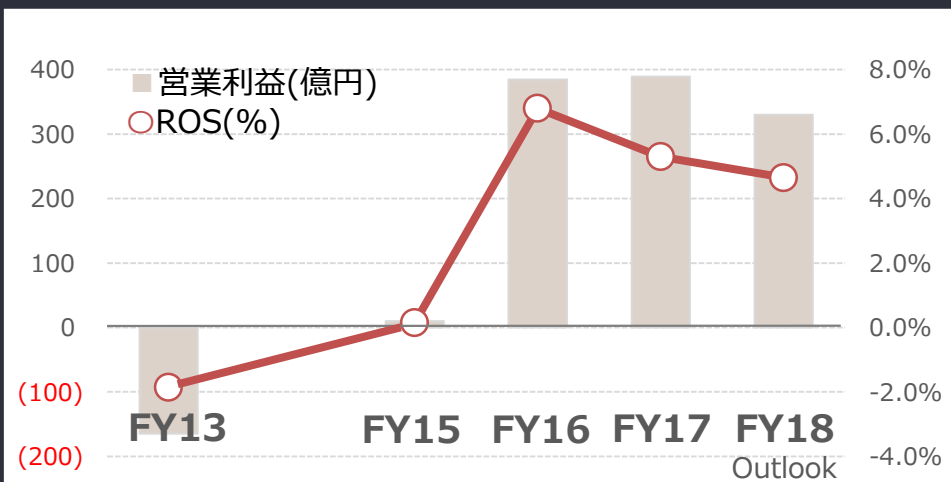


Basic Materials

社会・産業の基盤となる素材の提供



安定した収益基盤の構築



- ✓ 再構築3事業**すべて黒字化**達成
(フェノール、PTA/PET、ウレタン)
- ✓ **海外大型事業**の収益貢献へ
(エボリューションガポール、ニソンPJ)
- ✓ **韓国MDI増強完了**
(250KTA→350KTAへ。18年3月末)
- ✓ **特長ある差別化製品の拡大へ**

更なる競争力強化

1 ガスタービンの新設(大阪、FY20)

排ガスを活用したガスタービンの導入により
効率的な自家発電体制を実現

CO₂ **7万t-co2/y削減**



2 高純度C3精製能力増強 (市原、FY20)

プロピレン系誘導品強化戦略への対応
(PPのB&S、エラストマー系等)

3 ベトナム・ニソン製油所稼働

競争力ある原料(BZ、PX)の
調達開始へ

安全安定運転、フル販売、コストダウンで
営業利益**300億円超**を安定的に確保



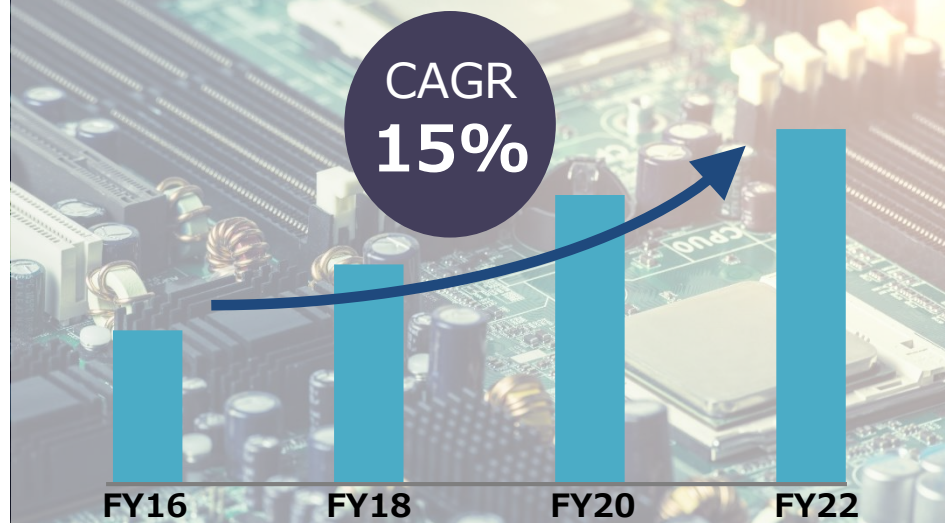
ハイドロキノンのデボトル増強 (17年8月完工)

生産能力
+10%
(12.5KTA体制)



半導体製造用ジシランガス

■ ジシランの需要見通し



DRAMやNAND型フラッシュメモリなど
半導体の高集積化で需要急拡大

低温分解の特長を活かし
製造工程の低温化ニーズに対応

**グローバル市場での高シェアを
維持し、更なる拡大へ**

■ 主な用途



アクリル酸、MMA等の
重合抑制剤



タイヤ等の
ゴム添加剤



PEEK
エンプラ原料

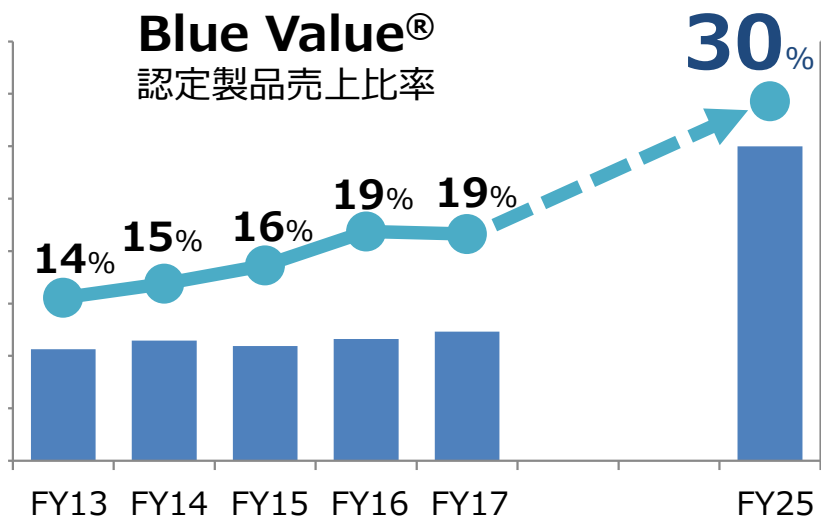
更なる拡大検討中

Contents

- ▶ **Business Performance**
17年度決算と18年度ローリング予算
- ▶ **Topics of Targeted Business Domains**
ターゲット事業領域のトピックス
- ▶ **Topics of Sustainability**
ESGトピックス
- ▶ **Financial Overview**
財務状況
- ▶ **Management Target for Sustainable Growth**
持続的成長に向けて

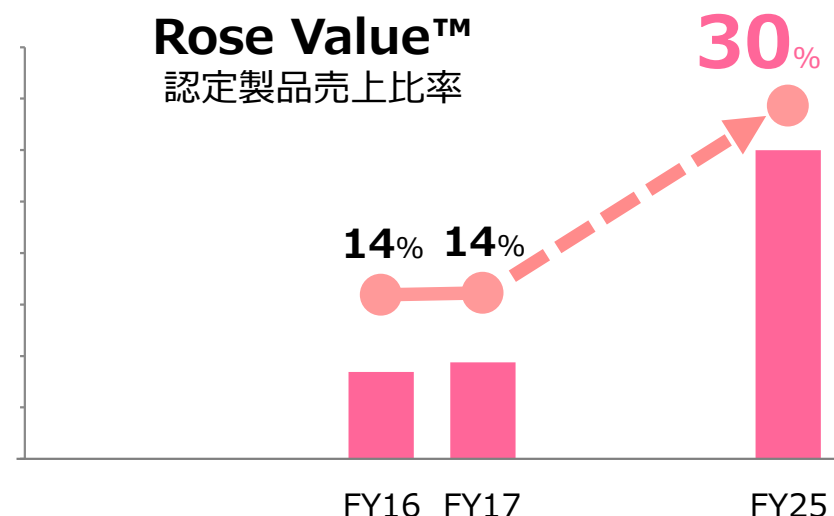
環境貢献価値

Blue Value®目標



QOL向上価値

Rose Value™目標

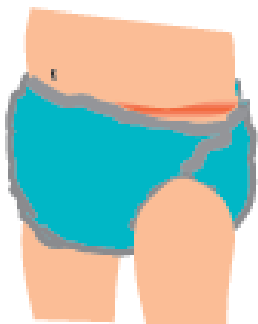


エアリファ® (Blue Value®、Rose Value™認定製品)

軽量・柔軟・高強度の高機能不織布

紙おむつ

- ✓衛生性
- ✓子育ての負担軽減
- ✓CO2排出量増加
- ✓廃棄の問題



エアリファ®の貢献

(KT-CO₂)

4,000

世界の紙おむつ用不織布のCO₂排出量
(三井化学推算)

2,000

0

2013

2020

- ✓CO₂排出量▲20%
- ✓軽量化により
廃棄物量削減

認定製品売上比率を倍増させ、事業成長と共に社会課題の解決に貢献する

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING



2040年までにマラリア被害ゼロを目指す

"ZERO by 40"

(2018年4月)



既存薬剤に抵抗性を示す マラリア媒介蚊への対策急務

- ✓ **世界の農薬メーカー5社による共同声明**
(BASF、バイエル、三井化学、住友化学、シンジェンタ)
- ✓ **ビル&メリンダ・ゲイツ財団、IVCCの支援のもと、
新たな効果的ソリューションを開発・供給**

豊富な原体開発パイプラインを活かし
社会課題ソリューションを提供



ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

"Do Green"検眼活動

(FY15~@インド)



当社バイオマス製品の原料供給農家 での社会課題発掘

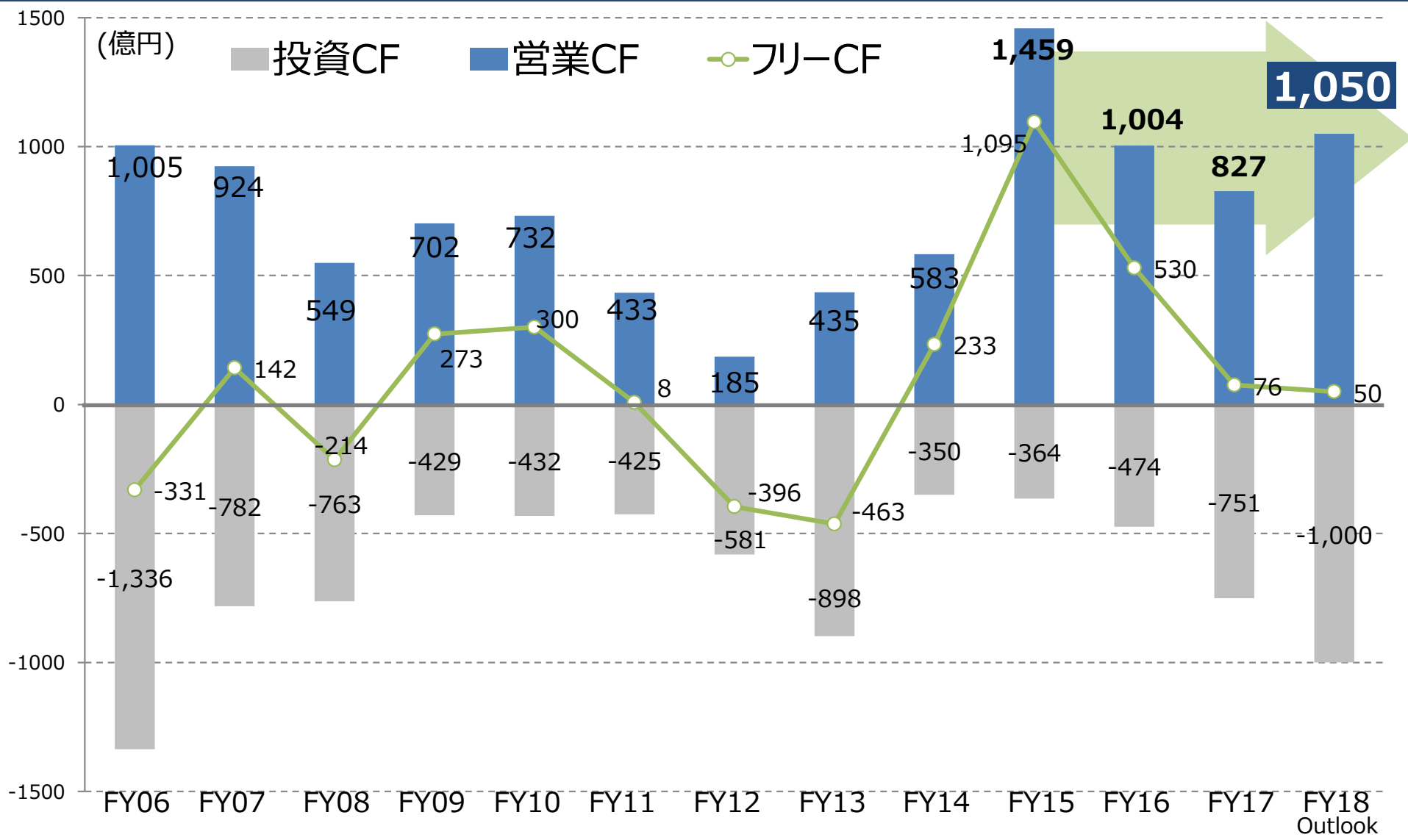
- ✓ 共感に基づく、日・印NPO、現地医師団、サプライチェーンとの協働活動
- ✓ 視力の問題と就学・就労比率の関連性

Quality of Viewのコンセプトのもと、
社会課題ソリューションを提供

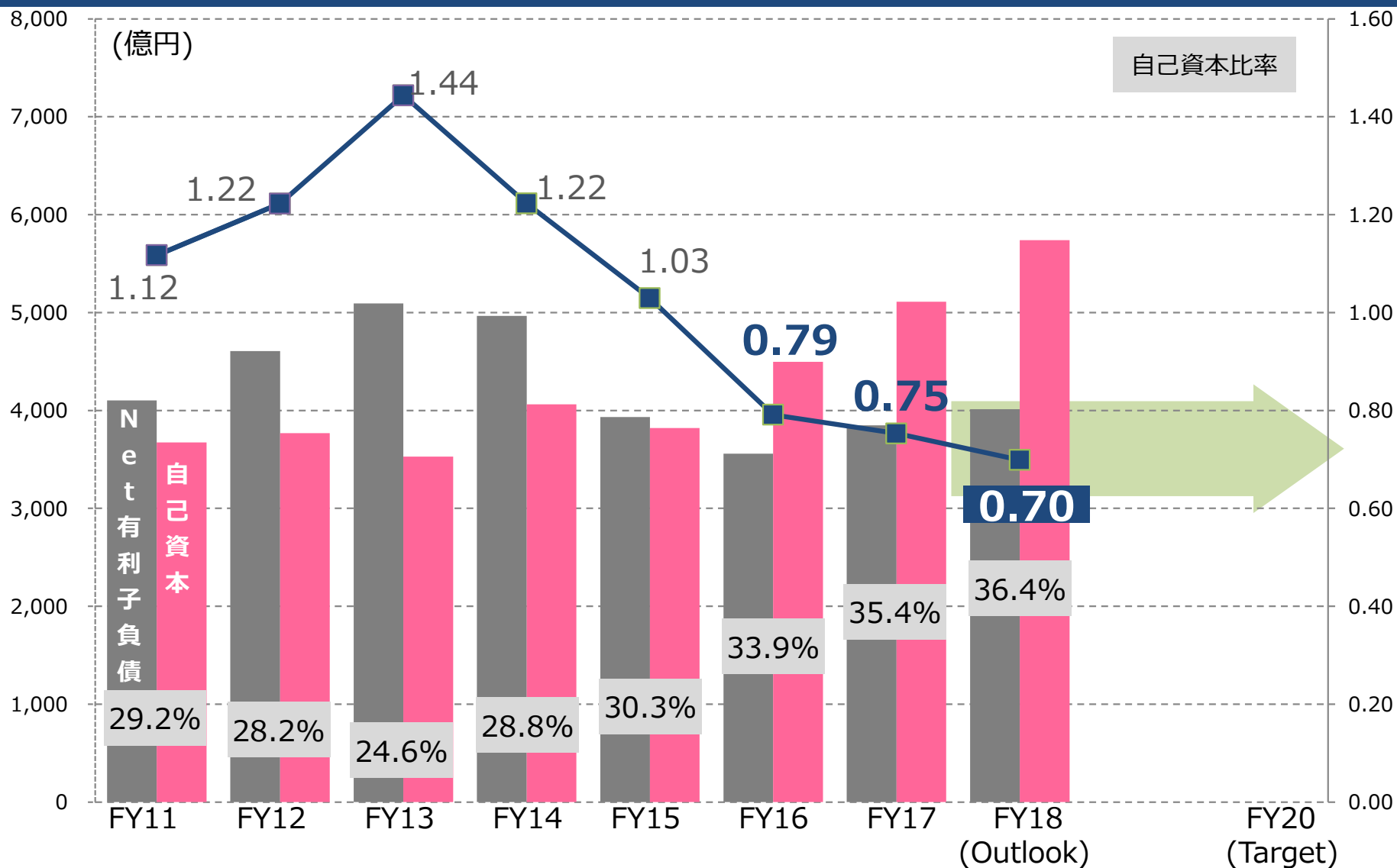
Contents

- ▶ **Business Performance**
17年度決算と18年度ローリング予算
- ▶ **Topics of Targeted Business Domains**
ターゲット事業領域のトピックス
- ▶ **Topics of Sustainability**
ESGトピックス
- ▶ **Financial Overview**
財務状況
- ▶ **Management Target for Sustainable Growth**
持続的成長に向けて

営業CFは引き続き高水準、積極投資継続

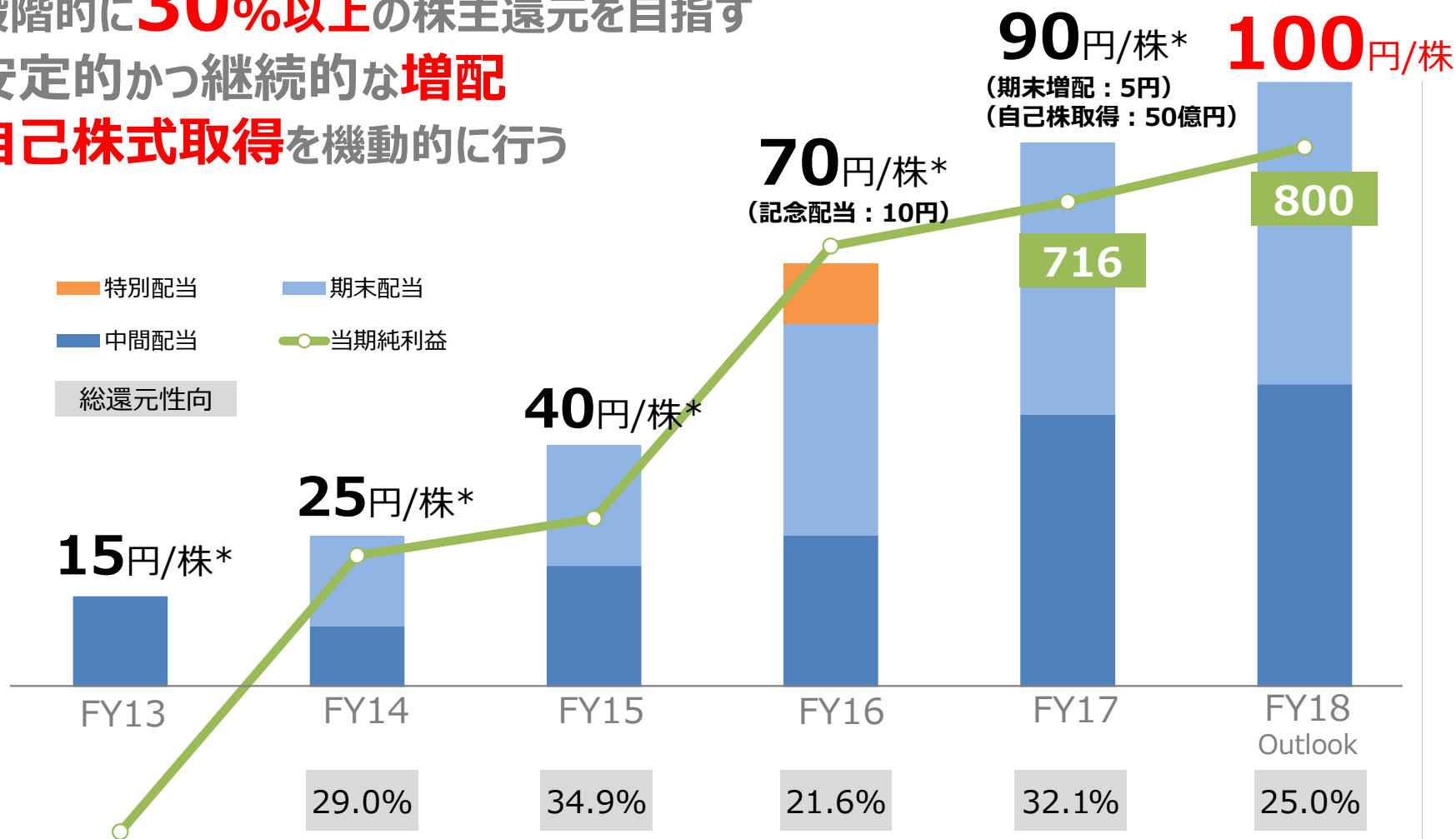


- ✓ 目標の1.0を大幅に上回る改善（0.7まで低下見込み）
- ✓ 更なる企業価値向上を目指し、積極投資継続



総還元性向目標を導入し、株主還元の更なる強化を目指す

- ✓ 段階的に**30%以上**の株主還元を目指す
- ✓ 安定的かつ継続的な**増配**
- ✓ **自己株式取得**を機動的に行う



*2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行いましたので、過去分については株式併合後の株式数を基に修正しております。

(営業利益：億円)

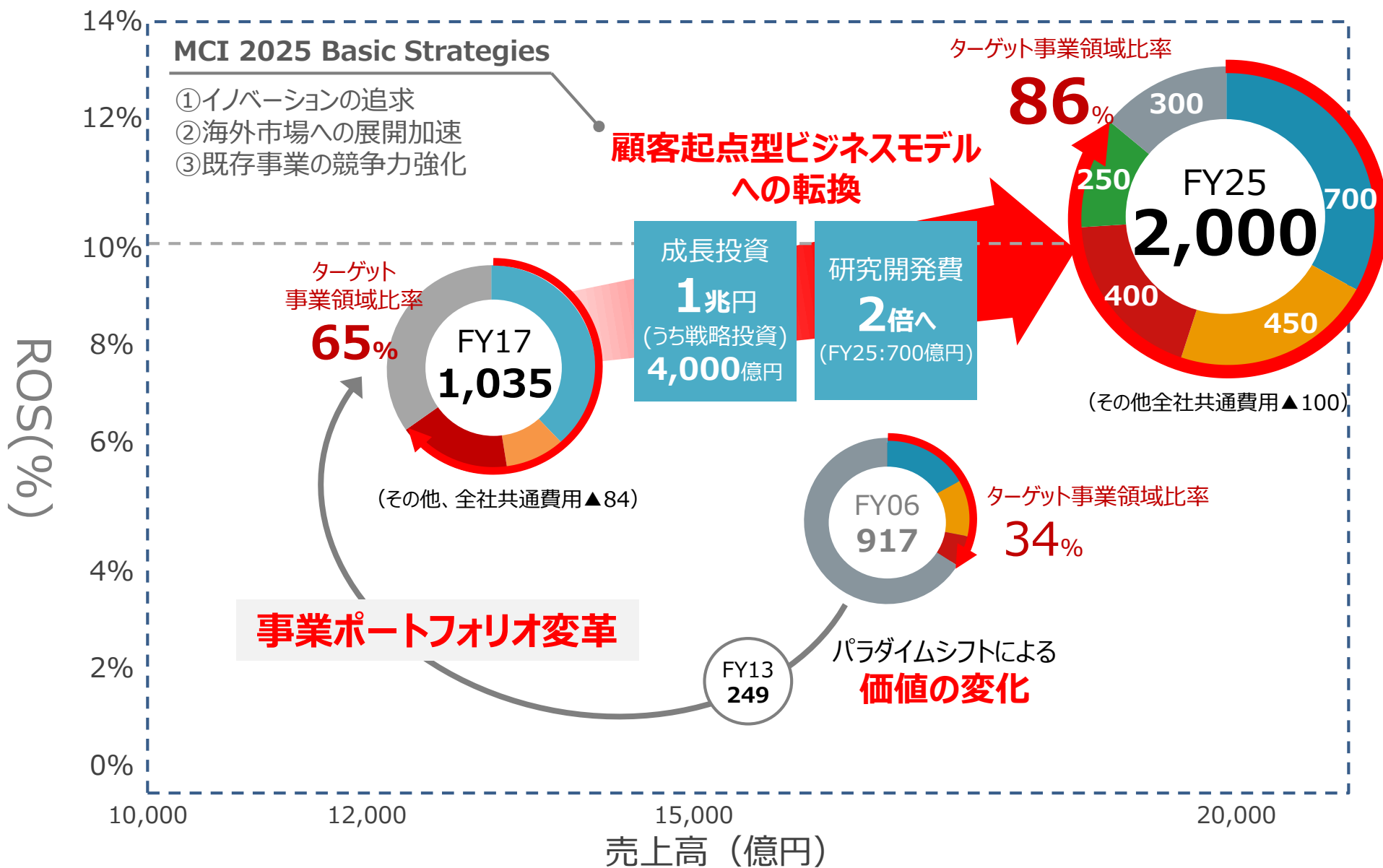
モビリティ

ヘルスケア

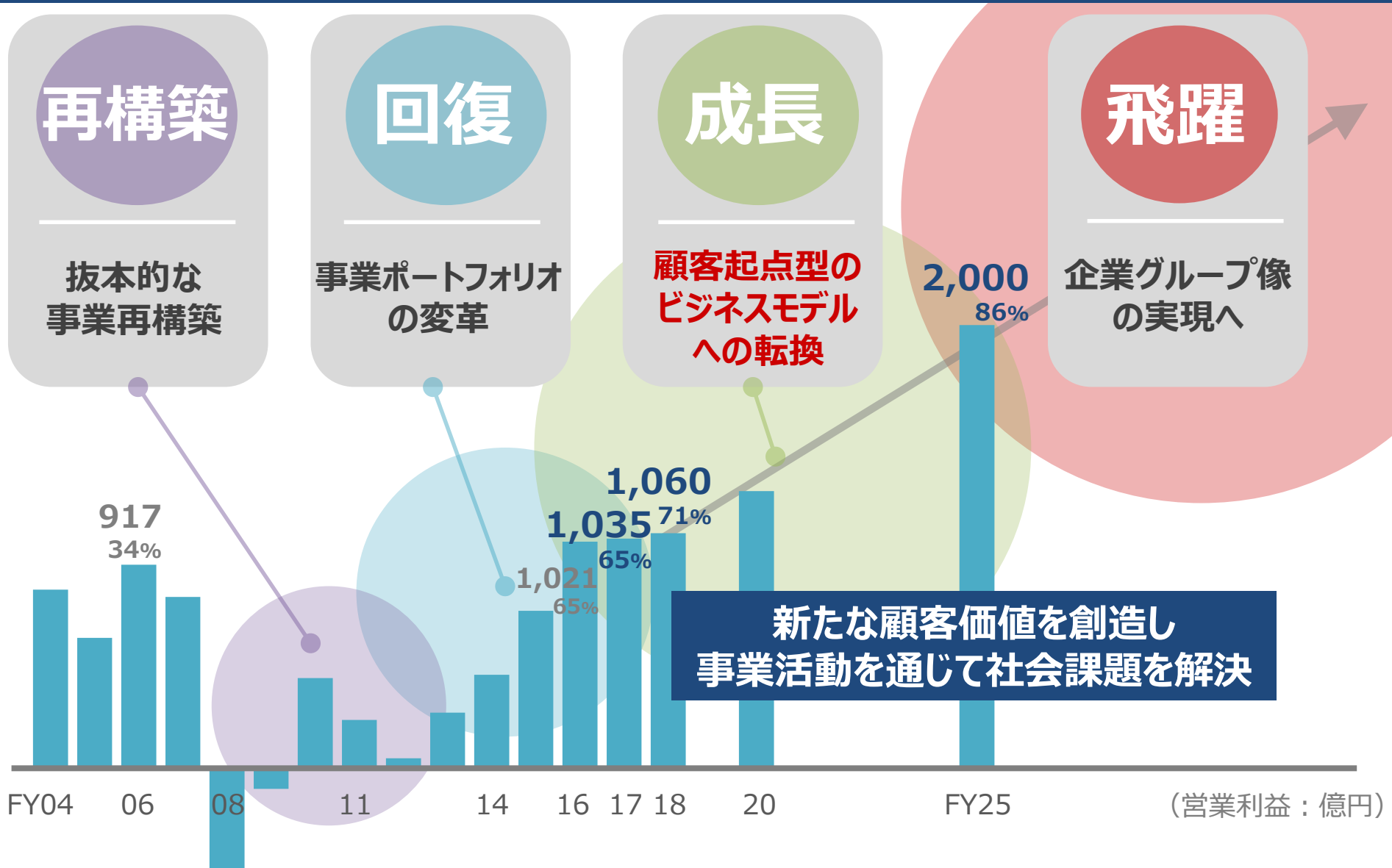
フード&パッケージング


新事業・次世代

基盤素材



絶えず革新による成長を追求し、グローバルに存在感のある化学企業グループへ



The background of the slide is a bright blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A large, solid blue arrow points from the left side of the frame towards the right, partially overlapping the sky and clouds. The text is centered in the left half of the image.

新たな顧客価値を創造し
事業活動を通じて
社会課題を解決する

0→1 MAKE IT HAPPEN



三井化学

Challenge Diversity One Team

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

ARRK-MCI 先進軽量シートコンセプト

バイタル測定用
圧電ライン入りシート

軽量CFフレーム
応力解析

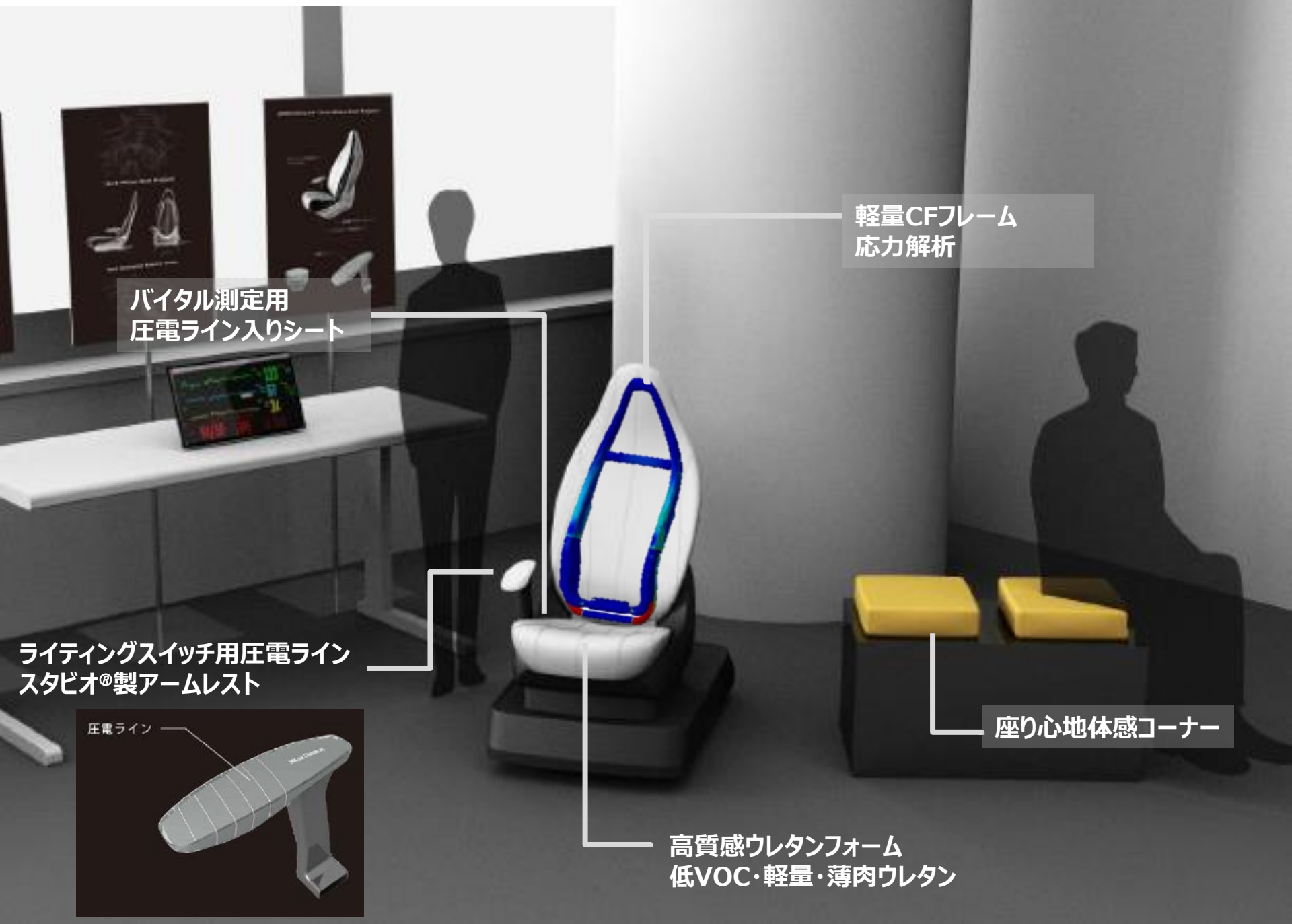
ライティングスイッチ用圧電ライン
スタビオ®製アームレスト

圧電ライン



高質感ウレタンフォーム
低VOC・軽量・薄肉ウレタン

座り心地体感コーナー



新製品の投入

250億円

イノベーションの追求

既存事業の成長
競争力強化

300億円

海外市場への展開加速

グローバル化
地域拡大

200億円

新事業・
次世代事業

250億円*

FY2025 営業利益

2,000億円

成長投資(FY16~25)

1兆円

研究開発費(FY25)

700億円

FY16
営業利益

1,021億円

*3ターゲット新事業+次世代事業

長期経営計画の環境・社会軸目標を設定

低炭素・循環型・自然共生社会の実現に
貢献できる製品・サービスの最大化

CO₂を
減らす

資源を
守る

自然と
共生する

提供価値の見える化

QOL向上、スマート社会の実現に
貢献できる製品・サービスの最大化

少子
高齢化

医薬・医療
の高度化

食糧問題

提供価値の見える化

環境貢献価値

“Blue Value®”

ライフサイクルを通じて、環境貢献価値が
他を上回る製品・サービスを認定

LCA*

独自の
評価指標
m-SI

用途別
評価

*ライフサイクルアセスメント

QOL向上価値

“Rose Value™”

あらゆる人の健康・安心な生活を向上させる
製品・サービスを認定

SDGs

独自の
評価指標

用途別
評価

貢献価値をステークホルダーと共有し、目指す未来社会の実現へ